

## ●農業系公設試験研究機関の連携 [幹事県 福岡県]

### [目的]

農業系公設試験研究機関相互の連携による効果的・効率的な研究を推進するための広域連携のあり方や九州ブランド育成に向けた具体的な推進策を検討する。

### [取組内容]

農業分野における九州各県の連携を機能連合の具体的な取組として実現するため、各県が保有する品種の相互許諾、九州ブランド育成及び知的財産権の保護と活用について検討

### [主な取組状況(知事会議での報告状況等)]

- 平成16年10月 第124回九州地方知事会議
  - ・麻生会長の提案に基づき、福岡県を中心に試験研究機関等連携方策(政策連合)について取組開始を決定(事務局：福岡県)
- 平成17年6月 第125回九州地方知事会議
  - ・「農業関係試験場広域連携研究会」設置、①各県が保有する124品種の将来的な共同利用の促進、②将来の九州ブランド育成、③農産物の品種育成者権や特許権等の知的財産権の保護・活用を検討することを決定
- 平成18年6月 第127回九州地方知事会議
  - ・「農業関係試験場広域連携研究会」での成果を報告
    - ①各県が保有している品種について県外栽培許諾の可否を記載したリストを作成し、情報共有、②将来の九州ブランド育成：「白輪ギクの九州統一品種の選定試験」「焼耐用大麦「はるしづく」の栽培試験」「アスパラガスの周年供給体系技術開発」を共同試験研究課題に選定、③農産物知的財産権の保護・活用に向けて九州・山口全県が「農産物知的財産権保護ネットワーク」に加入することに合意
  - ・農業関係試験場広域連携研究会を解散し、新たに「農業関係試験研究広域連携推進会議」を設置。選定した試験研究課題の推進と継続的な連絡調整を実施
- 平成18年7月 第1回農業関係試験研究広域連携推進会議
  - ・研究課題を推進会議の分科会で検討することを決定
- 平成18年10月 第128回九州地方知事会議(ペーパー報告)
  - ・取組状況を報告
- 平成19年2月 第2回農業関係試験研究広域連携推進会議
  - ・相互補完体制、将来の九州ブランド育成について検討
- 平成19年5月 第129回九州地方知事会議
  - ・取組状況を報告し、取組の継続を承認
    - ①相互補完体制(設備(機器、施設)の相互利用を進める、地域全体において農産物知的財産の権利侵害の発生への対応を実施)、②将来の九州ブランド育成に係る試験研究3課題の継続取組(白輪ギクの九州統一品種の選定試験、焼耐用大麦「はるしづく」の栽培試験、アスパラガスの周年供給体系技術開発)
- 平成19年10月 第130回九州地方知事会議(ペーパー報告)
  - ・取組状況を報告
- 平成19年10月 第3回農業関係試験研究広域連携推進会議
- 平成19年11月 「機器、施設の相互利用に関する申し合わせ事項」策定
- 平成20年5月 第131回九州地方知事会議(ペーパー報告)
  - ・取組状況を報告
- 平成20年7月 第4回農業関係試験研究広域連携推進会議
- 平成20年10月 第132回九州地方知事会議(ペーパー報告)
  - ・取組状況を報告
- 平成21年2月 第5回農業関係試験研究広域連携推進会議
  - ・相互補完体制、将来の九州ブランド育成について検討

○平成21年6月 第133回九州地方知事会議

・取組の成果を報告

① 互補完体制の整備

- ・「機器、施設の相互利用に関する申し合わせ事項」を策定。各県の所有する分析機器や施設等のリストを作成、相互利用を推進
- ・農産物知的財産権侵害に対する情報交換実施、権利侵害発生時の現地調査等に発生県が協力

② 広域連携試験研究の実施

- ・白輪ギクの九州統一品種候補選定試験

(参画県：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、山口)

12品種で比較試験を実施し「新神」「雪姫」「神馬2号」の3品種を選定。実需者及び生産者へ試験結果を情報提供

- ・焼酎用大麦「はるしずく」の安定栽培技術確立試験(参画県：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分)  
病気に強く焼酎の醸造適性能を持つ「はるしずく」の栽培技術を確立し、福岡県、熊本県において栽培面積が増加(平成18年度 39ha→平成20年度 2,027ha)、商品化も本格的に開始
- ・アスパラガスの周年供給体系技術確立試験(参画県：佐賀、長崎、大分)  
周年供給や連作障害対策技術を確立し、夏場の品質低下や端境期を解消

③各県共同での技術開発

23課題について共同研究を実施、各県で役割分担して効率的な研究開発を実施

※以上の取組により所期の目的を達成。今後とも相互補完及び共同研究を推進

○平成21年6月 第6回農業関係試験研究広域連携推進会議

○平成21年10月 第134回九州地方知事会議(ペーパー報告)

- ・取組状況を報告

○平成22年5月 第135回九州地方知事会議(ペーパー報告)

- ・取組状況を報告

○平成22年10月 第136回九州地方知事会議(ペーパー報告)

- ・取組状況を報告

○平成22年10月 第7回農業関係試験研究広域連携推進会議

- ・人的交流の推進について協議、人的交流に関する申し合わせ事項の策定について合意

○平成23年3月 「九州・山口農業系公設試験研究機関研究員の人的交流に関する申し合わせ事項」策定

○平成23年7月 あり方研幹事会から活性化に向けた意見を通知

- ・『広域連携のあり方や九州ブランドの育成に向けて、新たな取組みの可能性について検討を』

[成果]

①相互補完体制の整備

- ・「機器、施設の相互利用に関する申し合わせ事項」に基づき相互利用を推進

[相互利用の実施状況]

19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
3件	3件	0件	2件	1件	2件	1件	1件	1件	2件	1件

- ・農産物知的財産権の侵害に関する情報交換や現地指導等の協力方法を協議する担当者会議の開催、権利侵害発生時に発生県が状況に応じて育成者権を有する県の情報収集等に協力

[権利侵害の発生状況]

19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
2件	3件	0件	1件	2件	0件	1件	1件	1件	3件	0件

② 将来の九州ブランド育成に係る広域連携試験研究の実施

- ・白輪ギクの九州統一品種候補として3品種（「新神」<sup>あらじん</sup>「雪姫」<sup>ゆきひめ</sup>「神馬2号」<sup>じんば</sup>）を選定
- ・焼酎用大麦「はるしづく」の栽培技術を確立、福岡県、熊本県で栽培面積が増加

[「はるしづく」栽培面積（福岡県、熊本県）]

(単位：ha)

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
39	825	2,027	2,601	2,965	3,136	3,200	3,245	4,128	4,281	4,337	4,456

- ・アスパラガスの周年供給や連作障害対策技術を確立、夏場の品質低下や端境期を解消

[アスパラガス生産量]

(単位：t)

20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
8,441	8,778	9,425	8,429	8,492	8,332	9,610	9,214	9,373	9,346

③各県共同の技術開発

- ・役割を分担し効率的な研究開発を推進

[共同研究実施状況]

(単位：課題)

19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
10	23	28	34	41	39	34	45	52	63	63

④研究員の人的交流

「九州・山口農業系公設試験研究機関研究員の人的交流に関する申合せ事項」に基づき人的交流を推進

[人的交流実施状況]

21	22	23	24	25	26	27	28	29
4件	7件	5件	16件	20件	15件	1件	3件	2件

[課題]

特になし

[今後の取組]

今後とも相互補完及び共同研究を推進、毎年度末に取組状況を取りまとめ、情報を共有